

双葉町仮設灰処理第二施設 令和 6 年度維持管理記録(2号炉)

	測定頻度	項目	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特定廃棄物等処理量	—	処理量 ton	—	1,467.82	1,461.08										
燃焼ガス ※1		運転期間の平均値	—												
	連続	燃焼室温度 °C	800以上	843	847										
	連続	集じん装置No.1入口温度 °C	200以下	180	180										
	連続	煙突一酸化炭素濃度 ppm	100以下	1	2										
たい積したばいじん の除去を行った日	—	冷却設備	—	冷却設備および排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去は、仮設灰溶融炉稼働中は自動で行われる。											
	—	排ガス処理設備	—												
排ガス中の ダイオキシン類濃度 ※2	1回/年	排ガス採取位置	—	煙突											
		排ガス採取日	—	--	--										
		測定結果通知日	—	--	--										
		測定結果 ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.1以下	--	--										
排ガス中のばい煙量 またはばい煙濃度 ※3	1回/月	排ガス採取位置	—	煙突											
		排ガス採取日	—	4月15日	5月16日										
		測定結果通知日	—	5月2日	5月30日										
硫酸化物		測定結果 ppm	200以下	0.5未満	0.5未満										
ばいじん		測定結果 g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.08以下	0.001未満	0.001未満										
塩化水素		測定結果 mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	162以下	0.6未満	0.9										
窒素酸化物		測定結果 ppm	250以下	40	37										
排ガス中の 放射性物質濃度	1回/月	排ガス採取位置	—	煙突											
		排ガス採取日	—	4月15日	5月16日										
		測定結果通知日	—	4月22日	5月22日										
放射性物質濃度 ※4		測定結果	※5	<sup>134</sup> Cs Bq/m <sup>3</sup>	ND	ND									
	<sup>137</sup> Cs Bq/m <sup>3</sup>			ND	ND										
	合計 Bq/m <sup>3</sup>			ND	ND										

※1 燃焼ガスの各数値は、連続記録計の平均値を示す。

※2 排ガス中のダイオキシン類濃度の測定について、実施していない月は「—」を記載している。

※3 排ガス中のばい煙量、ばい煙濃度の基準値は生活環境影響調査で使用した値である。

※4 NDとは検出下限値未満であることを示している。

※5 排ガス中の放射性物質濃度の基準値は、<sup>134</sup>Cs濃度(Bq/m<sup>3</sup>)/20(Bq/m<sup>3</sup>)+<sup>137</sup>Cs濃度(Bq/m<sup>3</sup>)/30(Bq/m<sup>3</sup>)で算出される値が1以下である。